

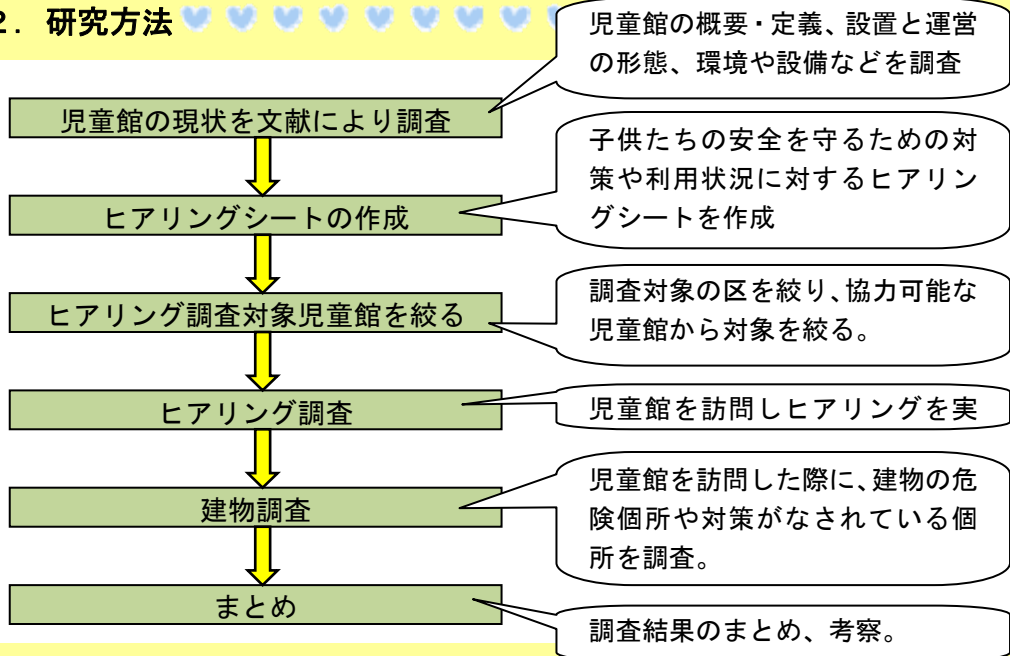
1. はじめに

近年、都市化、核家族化の進展、両親共働きの増加等により、児童を取り巻く環境が大きく変化し、さらに出生率の低下、遊び場の不足、交通事故、子どもを巻き込んだ犯罪の増加等家庭や地域における子どもの安全な場所が減少している。そのことから、児童が健やかに育つための環境づくりが児童福祉の立場から求められている。子ども達の安全とは何か、子ども達が安心して遊べる場所とは何かを考えたいと思い、子供たちの居場所の安全性について調査することにした。

研究目的

子ども達の居場所（児童館）の現状や改善点、子ども達の安全が以前よりも必要となった現在どのように対処しているのか、子ども達の居場所の目的を明らかにし、子ども達の居場所が守れることを目的とする。

2. 研究方法



3. 児童館とは

児童館とは、児童福祉法第40条に規程されている児童厚生施設の一つである。児童館の施設・設備等の基準については、児童館を含められている児童福祉施設最低基準（児童福祉法（昭和二十二年法律第六十四号）第四十五条）において、児童厚生施設の設備基準がある。児童館等の屋内施設では、集会室、遊戯室、図書室、および便所を、設けることとされている。

児童館の目的 児童館は、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的としている。

児童館の種類 **小型児童館** 小地域を対象とし、一定の要件を具備した児童館。

児童センター

小型児童館の機能に加えて、児童の代力増進に関する指導機能をあわせ持つ児童館。特に、前記機能に加えて中学生、高校生等の年長児童の情操を豊かにし、健康を増進するための育成機能を有する児童センターを「大型児童センター」という。

大型児童館

原則として、都道府県内または広域の児童館を対象とし、一定の要件を具備した児童館をいい、A型児童館、B型児童館、C型児童館と区分される。

その他児童館

学童クラブ、学童保育などの施設。

4. 児童館の調査

調査対象の児童館（8件）

- 《渋谷区》 こどもの城（大型児童館）・東京都児童館
- 《世田谷区》 上北沢児童館・代田児童館・池尻児童館
- 《杉並区》 阿佐ヶ谷学童クラブ・高円寺北学童クラブ・荻窪北学童クラブ

調査

6つの項目にわけ、ヒアリングシートを作成し、児童館に調査を依頼した。結果を以下のようにまとめる。

① 利用情報

小学生から高校生までの利用人数は約70人～150人と児童館によって様々だが平均130人ほどで、職員の数人は平均12人であった。利用者の大部分は小学生で、中学生や高校生の利用はほとんどない。

② 建物や子ども達のケガについて

大きなケガはなく、遊びでのケガが大半を占める。建物が原因のケガはほとんどない。

③ 災害や犯罪などでの項目別の不安度合とその対策

地震 不安度合は児童によって異なるが、比較的新しい建物の児童館は不安度合が少ない傾向にある。

火災・天候 ほとんどの児童館が“全く不安ではない”または“不安ではない”と回答した。火をあまり使用しない、事前に対策をうつなどの理由があげられた。

犯罪 不安を抱いている児童館は多い。対策としては、防犯メールや地域の小学校・警察との連携である。防犯カメラを設置している児童館もあった。

④ 災害への対処

非難手順はマニュアルで決まっていて、どの児童館も職員が必ず周知し、1年に1回は避難訓練が行われている。避難場所は近くの公園や学校である。

⑤ 犯罪から子ども達を守るための対応

情報化が進み、防犯メールの取得はどの児童館でも行われ、小学校や警察との情報交換も頻繁に行われている。調査した全ての児童館において、お祭りやスポーツイベントなど地域とのコミュニケーションを図るため様々な催しも実施している。

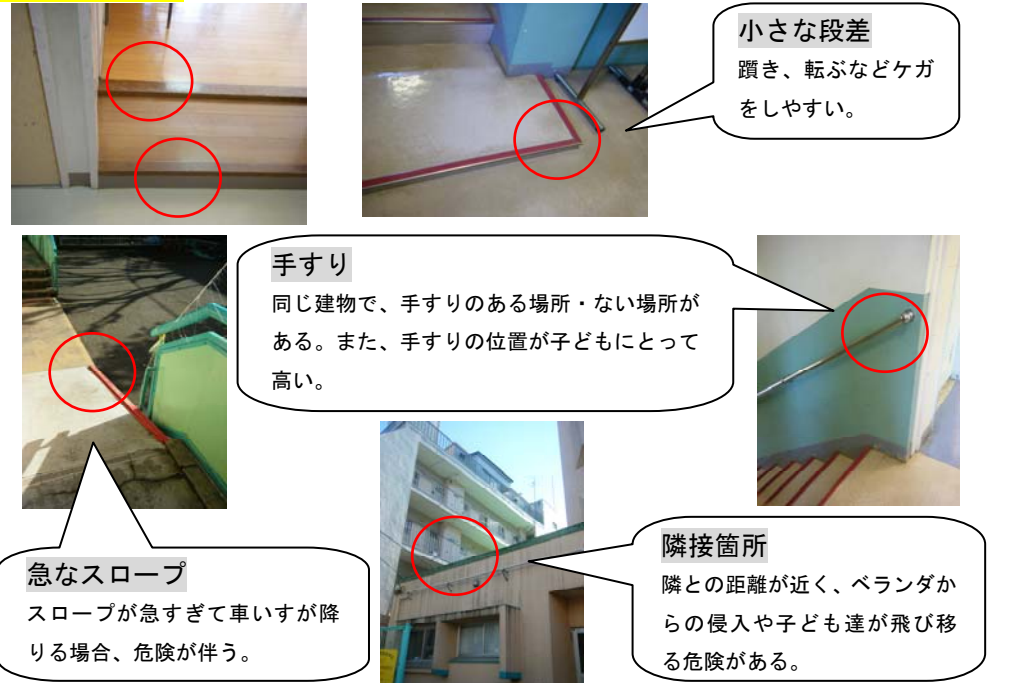
⑥ 子ども達の居場所の在り方について

子どもたちの居場所はどのように在るべきかという質問に対して、安心して遊べる場所、相談できる場所、情報交換の場所、子どもと地域の人々（老人）を結ぶ場所とあげていた。保護者の不安も増え、子供たちの遊ぶ場所が少なくなっている中、もっと伸び伸びと子ども達に遊んでもらいたいという職員の方の願いがあった。

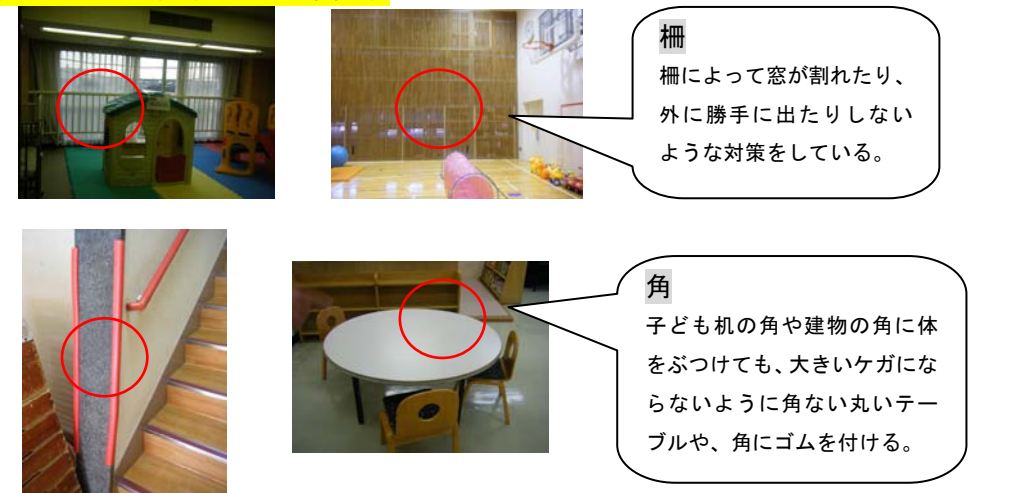
5. 建物調査

児童館を訪問し、建物の改善が必要な場所や危険箇所の対策がなされている場所を以下にまとめる。

改善が必要な箇所



改善されている箇所また対策箇所



上記にあげた改善が必要な箇所の中で、手すりは保護者からの指摘もあり、今後改善予定だ。急なスロープや隣接箇所、段差に関しては改善される予定はなく、職員の方も困っていた。

6. まとめ

児童館を利用する子どもの数は増加しており、職員も足りないほどである。今やなくてはならないものになっている。子ども達の居場所とは、安全とは何なのか、児童館で働く職員の方の様々な思いがあった。子ども達の居場所は少しずつ変化し、それに伴い子ども達の遊びも変化している。児童館は職員の方、地域の方、警察の方などがいてこそ安心して遊べる場所として成り立っている。これからも社会は変化していく、子ども達の居場所や遊びも変化し続けるのであろう。

